

長野県のツキノワグマ目撃及び人身被害の状況

長野県林務部森林づくり推進課

ツキノワグマの里地での目撃件数の推移

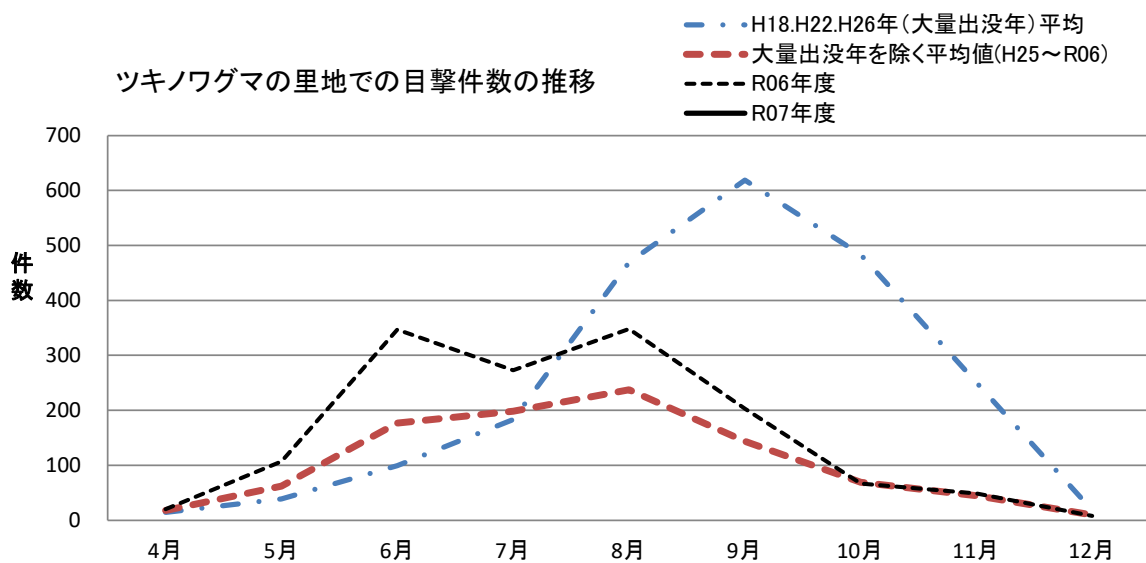
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 - 3月	4-3月 計	人身被害 件(人)
H18	22	27	108	252	817	909	751	434	42	-	3,362	16(18)
H22	8	38	112	159	327	535	269	139	4	-	1,591	14(14)
H25	14	41	84	89	147	85	12	4	0	-	476	3(3)
H26	14	52	79	138	263	413	430	177	9	-	1,575	31(32)
H27	25	47	134	142	177	37	12	8	0	0	582	6(6)
H28	12	60	137	163	171	118	87	31	6	1	786	9(9)
H29	11	20	91	151	152	128	22	20	3	2	600	6(7)
H30	22	92	183	158	182	55	23	18	9	7	749	5(5)
R01	18	64	196	291	334	207	125	68	16	13	1,332	8(8)
R02	16	50	151	264	411	309	126	86	14	10	1,437	12(12)
R03	16	78	210	266	205	116	83	62	20	3	1,059	16(16)
R04	20	56	124	147	211	113	50	26	9	14	770	8(8)
R05	25	68	288	235	275	209	156	117	23	10	1,406	11(12)
R06	20	107	347	273	348	203	67	49	8	8	1,430	12(13)
R07	25										25	4(6)

※人身被害は林内での発生も含む。

網掛けのセルは大量出沒年。

凡例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月 累計	人身被害 件(人)
H18. H22. H26年 (大量出沒年) 平均	15	39	100	183	469	619	483	250	18	2,176	20.3(21.3)
大量出沒年を除く 平均値(H25～ R06)	18	62	177	198	238	144	69	44	10	960	8.7(9.0)
R06年度	20	107	347	273	348	203	67	49	8	1,422	12(13)
R07年度	25									25	4(6)

ツキノワグマの里地での目撃件数の推移



- ・平常年は、山のエサが少なくなり農作物が収穫を迎える8月が目撃件数のピークとなっている。令和5、6年は親子グマや若齢クマを中心に、6月にも増えている。
- ・大量出沒年では、8月から11月にかけて目撃件数が増加し、特に9月、10月が顕著に増加している。堅果類の豊凶の影響が推察される。

地域別の里地での目撃件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 - 3月	4-3月 計	人身被害 件(人)
佐久地域	1										1	1(1)
上田地域	0										0	1(1)
諏訪地域	1										1	0
上伊那地域	0										0	0
南信州地域	0										0	0
木曽地域	1										1	0
松本地域	2										2	0
北アルプス地域	2										2	0
長野地域	9										9	0
北信地域	9										9	2(4)
計	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	4(6)

(人身被害件数は5月7日現在)